ひばり

一般社団法人 東員町文化協会 広報

第99号

令和6年2月発行



第56回東員町文化祭より

特別寄稿

心潤す文化活動



菰野町芸術文化協会会長

尾﨑 由香

菰野町にフラメンコスタジオをつくり、温泉と人に癒され17年活動してまいりましたが、こんなにのんびりした菰野にもコロナの渦が押し寄せ、そして北勢地域の文化団体も巻き込まれました。日本中が『不要不急』を守っていた時、窒息しそうになりながらも東員町の文化協会の会員様も創意工夫での乗り越えようとされていたと思います。

1年程して活動再開されたある舞台発表にて、生演奏を聴いた時の感動は忘れられません。確かに文化は急いでいるものではないですが、心を潤して豊かな気持ちに引き戻してくれるもので、文化は必要だったと改めて思い知りました。

東員町におかれましては 歴史の深い大社祭の様な伝統文化、そして市民参加方のイベントなど文化協会以外にも町民が積極的に参加されるイベントがあり、ホールにてもイベントの集客力の凄さを感じておりました。

コロナ禍も少し落ち着いたもののまだいろんな脅威もありますが、新名神菰野インターや東員町を通っていなべと続く東海環状線の延長や移住者の増えてきている明るい情報も聞こえています。

これからも貴文化協会の会員様の益々のご活躍とご発展をお祈り申し上げます。

略歴

（子供出産後30代目前にてフラメンコを始める
菰野町に2005年より移り住みフラメンコ教室始動）
菰野町芸術文化協会理事歴6年
令和3年より菰野町芸術文化協会　会長に就任

文化祭

期間　10月28日(土)～11月5日(日)
会場　東員町総合文化センター



第56回東員町文化祭を終えて

新型コロナが五類移行になり状況に気を付けながらの開催でした。

オープニング式典後の箏曲麗明社「廣翔会」による演奏、美しい音色に魅了されました。

展示ですが「今回すっきりしていて工夫が見られた」「素晴らしい作品が多く感動した」等々の嬉しいお言葉。又「ロビーや通路に椅子があれば助かる」などのご提言も。

ご協力頂きました関係者の皆様、無事に終える事が出来感謝申し上げます。

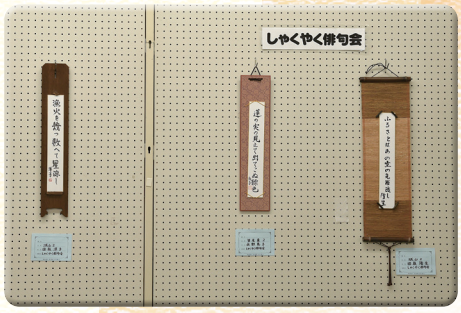
展示プロジェクトチームリーダー
吉田　幸子



















目次

特別寄稿……1
第56回東員町文化祭作品展……2
個人作品展・公民館講座作品展……4
学校・学童作品展……5
連載続々・歴史よもやま話……6
活動このごろ……7
会員の文芸作品……11
第31回春の文協まつり予告……12
編集後記……12

第56回 東員町





















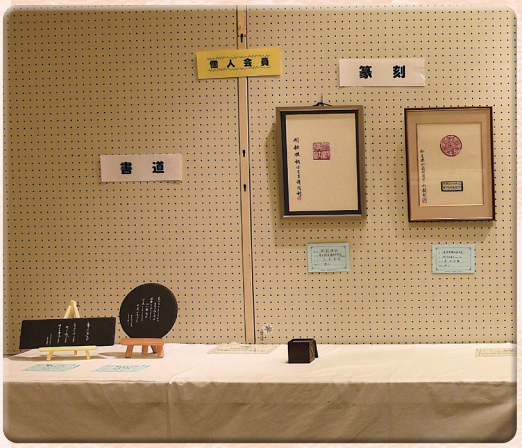


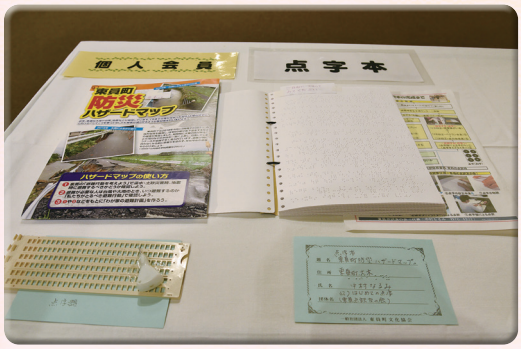


第56回 東員町文化祭

個人作品







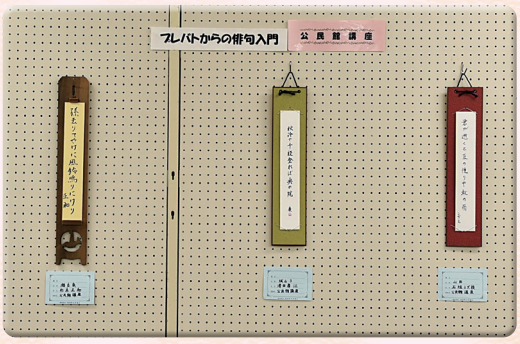






公民館講座卒業生作品









第56回 東員町文化祭

学校作品

















学童作品





続々・歴史よもやま話

其の六

猪名部（いなべ）神社
第二五世宮司
石垣 光麿

「神社の住人、アオバズク」

〈アオバズクの記録〉

昨年、日本野鳥の会によって猪名部神社のアオバズクの記録が「しろちどり117号」に掲載されました。

毎年4月に東南アジアからつがいで帰ってくる「初鳴きの日」、6月に生まれた「ヒナの数」、7月に「巣立った日にち」と「巣立ったヒナの数」、そして、9月下旬に親子で東南アジアへ飛び立った「終認日」を記録したものです。その他に「巣立ちに失敗したヒナの話」や「カラスに巣を襲われた話」など数々のエピソードも入れてまとめていただきました。このようなアオバズクの観察記録は全国的に少ないそうで、貴重な資料として国会図書館に保存されるとのことです。

〈ヒナの巣立ち〉

ヒナが7月中旬ごろに「巣立ち」をするのはなぜか？これは自然の摂理でよく考えられていて納得させられます。それはアオバズクが100％昆虫を食して生きているからに起因します。7月中旬以降は蝉しぐれと言われる程、セミがにぎやかに鳴きはじめます。この時期はアオバズクが餌に不自由なくすごすことができるバラ色の期間です。

でも教育は必要です。7月のヒナは蝉が足元を横切っても顔をかしげるだけで、足元のセミには知らん顔をしています。親に与えられるセミをあんなに喜んで丸呑みしているのに・・。

親は「エサをとる」「天敵を知る」「飛ぶ」など二カ月半の間にヒナに生きる力を身につけ自立させていくのです。漢字の「親」のように「木」の上に「立って見守る」のは巣立ちまでのことで、いざ外へ出たら親も子も必死の教育期間です。昨年はヒナ3羽の巣立ちでしたが、残念ながら1羽が落鳥してしまいました。しかし、このようなことはめったにありません。

〈4～6月は何を食べているの？〉

では、4～6月は何を食べているのでしょうか？特に家族のふえる6月はセミがまだ穴ゼミ（幼虫）として土の中です。これについては野鳥の会の方から「神社の辺りには神社の周りに牧場があるでしょ。牧場にはカブトやクワガタの幼虫がいっぱいいて、アオバズクがエサに困ることはありません。」これまで大社祭を支え守っていただいた馬主の方々は、地域や馬だけでなくアオバズクも育ててくださっていたと知りました。感謝の言葉以外ありません。本当に有難うございました。

猪名部神社アオバズクの記録

年	初認	終認	生まれた雛の数	巣立った雛の数	巣立った日
2001	4/27	9/26	3	3	7/10,12
2002	4/24	9/24	3	3	7/11,14
2003	4/28	9/25	3	3	7/13,15,16
2004	4/25	9/28	3	3	7/10,14
2005	4/26	10/2	3	3	7/15,16
2006	4/24	9/28	3	3	7/10,11
2007	4/28	10/3	3	3	7/10,13
2008	4/28	10/3	3	3	7/14,15
2009	4/25	9/12	3	3	7/11,13,16
2010	4/25	9/29	3	3	7/12,14
2011	4/26	10/2	3	3	7/15
2012	4/28	9/19	3	3	7/13
2013	4/22	10/3	3	3	7/12
2014	4/24	9/30	3	3	7/15,16
2015	4/24	9/22	3	3	7/21,26,27
2016	4/17	10/2	3	3	7/16,17,19
2017	4/15	9/30	4	4	7/17,20
2018	4/24	9/6	3	0	-
2019	4/20	9/28	4	4	7/18
2020	4/28	9/24	4	4	7/16,17,18,19
2021	4/22	9/20	4	4	7/16,19
2022	5/1	10/7	4	4	7/14
2023	4/19	10/11	3	2	7/19

活動このごろ

第31回東員町囲碁大会

10月15日(日)
於　東員町総合文化センター2階

降り続いた雨が上り県内外からコロナ禍前に匹敵する100名の参加がありました。
コロナ感染症対応が緩和された中、皆さんマスクを着用し熱戦が繰り広げられました。

試合方法　　スイス方式により一人四局対決

成績結果

クラス別	順位	氏名	市町名
Sクラス	優勝	島田　達也	いなべ市
(六段以上)	準優勝	田中　正明	四日市市
	三位	蒔田　　勉	桑名市
Aクラス	優勝	毛利　敦夫	桑名市
(五～四段)	準優勝	林　清文	鈴鹿市
	三位	伴　政博	鈴鹿市
Bクラス	優勝	森　鉱次	川越町
(三～二段)	準優勝	河原　芳隆	東員町
	三位	中島　政道	四日市市
Cクラス	優勝	中村　正一	鈴鹿市
(初段・級位者)	準優勝	細田　　主	桑名市
	三位	小高　治之	いなべ市





茶道裏千家(菅野宗敦)

秋の大茶会

11月5日(日)10:00～15:00
於　東員町総合文化センター 和室

裏千家15代お家元（前お家元）が4月に満百歳を迎えられ、尚、国内外で精力的に活躍されているお姿にあやかりたく、床に自筆のお軸を掛けみな様とこのパワーを頂けていたなら、幸いに存じます。

ご来場のみな様、関係者のお陰で無事終えました事に感謝申し上げます。

菅野宗敦





活動このごろ

ニットルームかわまつ

35th編みバーサリー
8月4日(金)～6日(日)
於　東員町総合文化センター2階展示室

コロナ禍で活動が低迷していましたが、教室35周年の節目の年でもあり、日頃の編物教室の成果を見て頂こうと開催しました。約300名の方に来場頂き、楽しい展示会になりました。



ひばり窯陶友会

ひばり窯陶友会クラブ展
8月18日(金)～8月20日(日)
於　東員町総合文化センター2階展示室

会員の展示作品の他、地元の華道教室の協力を仰ぎ、陶器と生け花がコラボした美しさを来場者に楽しんでもらえました。

「絵付け体験コーナー」には家族連れの参加者多数で、展示作品を見て、クラブ展の後、新入会員も！



岡田水彩画グループ

第13回岡田絵画グループ合同展
9月28日(木)～10月1日(日)
於　柿安シティホール

岡田絵画グループ（東員町内3サークル、桑名市、川越町、朝日町の5サークル）の会員が、年1回日頃の作品づくりの成果を一堂に会して99点の作品を展示。北勢地域のほか県内外から500名を超える来場者があり、熱心に鑑賞してもらい、今後の作品づくりの励みになりました。







民謡寿会

東員町長深シニア交流会
9月22日(金)9時45分～11時
於　東員町長深公民館センター

今回は、長深シニア会より長深音頭の三味線用の編曲依頼があり、シニア会員の皆様と一緒に唄いました。今後、これに踊りを付けて、盆踊り等に利用するそうです。



陶芸第一クラブ

「おしゃれな陶植木鉢展」
10月13日(金)～15日(日)
於　東員町総合文化センター2階展示室

クラブ全員の自由な発想で植木鉢を作陶し展示しました。期間中は、200名余りの方に来場いただき盛況のうちに終えました。

ご来場の方の「昨年の花瓶展を見て今回のイベントも楽しみに来ました」というご意見もあり、今後とも楽しさや感動を少しでも地域の皆様に感じていただける作品作りに邁進します。



活動このごろ

第34回東員百人一首かるた大会

10月8日(日)

於　東員町武道館

4年ぶりに参加人数に制限のない大会となり、県内各地より集まった約50名の参加がありました。6階級に分かれ、熱戦が繰り広げられました。



― 東員町の石垣孝介さんのコメント ―

桑高に入って競技かるたを始めました。
東員町の大会で優勝できて嬉しいです。
しかし、東員町の人が少なく残念です。
もっと多くの人に競技かるたを知って頂きたいです。

東員名人位の部
優　勝　太田 智絵　桑名市
準優勝　諸岡 和奏　名城大学附属高等学校１年
三　位　山田 侑佳　暁高等学校１年

有段者Ｃの部
優　勝　谷川原 景子　桑名市
準優勝　内山 琴葉　名古屋大学１年
三　位　門脇 悠斗　三重大学２年

有段者Ｄの部
優　勝　山田 明奈　暁中学校１年
準優勝　村木 万有理　鈴鹿市立大木中学校２年
三　位　山下　明子　亀山市

一般の部
優　勝　石垣 孝介　三重県立桑名高等学校１年
準優勝　松浦 香菜子　三重県立桑名高等学校１年
三　位　金丸 千夏　三重県立桑名高等学校１年

小学校高学年の部
優　勝　秋田 寧音　暁小学校５年
準優勝　中尾 志緒理　暁小学校５年
三　位　駒瀬 福　東員町立笹尾西小学校４年

小学校低学年の部
優　勝　藤井 もも菜　鈴鹿市立一ノ宮小学校２年
準優勝　秋田 麻菜　暁小学校３年

初心者の部
優　勝　藤井 めぐみ　鈴鹿市
準優勝　駒瀬 雅　三重県立桑名特別支援学校 高等部1年

バトンメイツフェニックス

東員町商工祭

10月15日(日)

於　東員町中部公園

今年はメンバーが増え幼稚園から中学生までの25名で参加させていただきました。

初めて参加する選手もおり、わくわくドキドキの商工祭になりました。

練習の成果を十分に発揮することができ、笑顔で終えることができました。

ありがとうございました！



笹尾民踊クラブ＆なでしこ虎の会

第58回　伊勢神宮・奉納おどり

10月22日(日)

於　伊勢神宮･内宮参集殿･能舞台

大きな人の流れが続くほどの御神楽・内宮参拝となりました。

文化の伝承方法は、世界のどの国にも見ることはできない、神宮は奉祝行事が続き、神嘗祭、創建100周年を迎えた倭姫宮（やまとひめのみや）の記念行事も終えた。

神宮は今日も生き生きと存在している。



活動このごろ

員弁東部吟詩会

長深長和会ふれあいカフェちょうわ

10月20日(金)
於　長深公民館

員弁東部吟詩会は、長深長和会ふれあいカフェに於いて,詩吟及び剣舞を初めて地元の皆様の前で発表致しました。



中部短歌会東員支部

第101回　中部短歌会　全国大会

11月26日(日)
於　ホテルルブラ王山

創立101周年の全国大会は，ゲストに歌人でアーティストの笹公人先生をお招きして、堀田季何氏、大塚寅彦氏による「ＡＩ時代と短歌の今日性・オカルト性」の鼎談や、86首の歌会・各授賞式が開催された。



箏曲麗明社「廣翔会」

第32回桑名市民芸術文化祭「芸能の祭典」

11月４日(土)～5日(日)
於　柿安シティホール(桑名市民会館)大ホール

恒例の芸能の祭典が開催され、5日の最後に出演しました。箏三重奏の「ラデン」に挑戦し、難しくて大変でしたが、無事終えることができて良かったです。

26日はいなべ市民祭の舞台発表会があり、古今集より「琴を詠む」を演奏しました。



笹尾吟詩会

全国選抜興道杯競吟大会

12月3日(日)
於　大阪　泉の森ホール

全国大会に（大塚・日比組）が連吟で出場しました。久々の快挙に会員一丸となって応援してきました。



トピックス

合格おめでとうございます。

ニットルームかわまつ　当教室から
令和5年度文部科学省後援
公益財団法人　日本編物検定協会毛糸・レース編物
技能検定試験　9月17日（日）に桑名市で実施

毛糸1級合格。永島紫織さんは優秀な成績で文部科学大臣賞を受賞しました。

また、レース3級では柿澤節子さんが合格しました。



中部短歌会　東員支部　詠草十首

○夕焼けのメタセコイアの並木道金いろの声に児ら帰りゆく
中村トミコ

○連休はわが家を囲むひ孫たち自由自在を謳歌している
山田百合子

○襲われたカサブランカは引き裂かれ蕊からかすか香りたちくる
加藤　貴代

○今バズる安芸の市長に感銘すZ世代にレクチャーされて
宮永　洋子

○知らぬ間にニョキニョキニョキと伸ぶ庭木葉を茂らせて日陰をくれる
松本美江子

○傾ぎいし墓石の苔に染みる雨俯き磨く夫の背丸し
武本美千代

○星形を立てて載せたる一歳児次なる積木課題は多し
山田由紀子

○木漏れ日を受けし水面は煌めきて梅花藻浮かせ被写体となる
川合　孝子

○曼珠沙華咲く道駆けて会いにくる色なきやさしい風をたずさえ
小森　逸子

○ドラマにて軒並み女優の役柄を上げたり女性活躍省は
冨田　博一

しゃくやく俳句会

一吹きでたんぽぽの絮旅立たす
国枝　隆生

自註　たんぽぽがすっかり絮毛となったとき、気まぐれに吹き飛ばすことがある。それはあたかも絮毛一つ一つがいのちとなって飛んでいくようである。それを「旅立たす」と詠んでみた。

こほろぎと眠れぬ闇を分かち合ふ
国枝　洋子

自註　年を重ねるにつれ、寝つきが悪くなる。夜遅くまで虫の音を聞いていると、眠られない自分と元気よく鳴いているこおろぎが同じ闇を共有しているようで、眠られない自分を励ましているようだ。

終電が気になる授業夜学生
水谷　仁士

自註　今から六十年前の頃です。私は夜間大学に通学していました。授業が長くなると、終電の時間が気になり、授業内容はそっちのけでした。若かりし頃の思い出です。

秋の川水面のふくぼゆったりと
荻野　恵子

自註　津屋川の欄干より川を眺めていると、流れの中に何なのか分からないが、川面が点々と窪んでいた。虫なのか光なのか不思議な情景だった。

第31回 春の文協まつり

※文協まつりの内容につきましは、変更になる場合があります。

作品展

入場無料

3月6日(水)～10日(日)

展示時間　9:00～17:00
(初日は13:00～最終日は16:00まで)
場　　所　東員町総合文化センター 特設展示会場
主な出展団体(文化協会加盟団体)と出展者
陶芸第一クラブ・ひばり窯陶友会
東員フォトクラブ・東員絵画クラブ
書芸八千代会・楽絵筆
岡田水彩画グループ
中部短歌会東員支部
ニットルームかわまつ
洋裁サークル・マミー
(順不同)
文化協会会員・公民館講座卒業生
出展内容　陶芸・写真・絵画・短歌
書道・服飾・手芸・工芸
その他
(展示内容は作品応募状況により変更になる場合があります)

大茶会(抹茶)

3月10日(日)　10:00～15:00

場　　所　東員町総合文化センター
1Ｆ第２研修室（和室）
茶　　券　**一般 500円　18歳以下 300円**
(前売券は文化協会事務局で販売) 当日券あり

主催　(一社)東員町文化協会
後援　東員町教育委員会
申込・問合せ先　(一社)東員町文化協会　☎76－7711

芸能祭

入場無料

3月17日(日)　11:00～ (開場10:30)

場　　所　東員町総合文化センター
ひばりホール
出 演 者
文化協会加盟団体
YYフラグループ・YYウクレレグループ
飛龍東員太鼓・バトンメイツフェニックス
員弁東部吟詩会・菊水流詩舞東員クラブ
箏曲麗明社「廣翔会」
東員町大正琴クラブ・笹尾民踊クラブ
笹尾吟詩会・民謡寿会
(順不同)
司　　会
川井 道子　中村 厚子

囲碁大会

３月20日(水・祝)　10:00～ (受付 9:00)

場　　所　東員町総合文化センター
対　　象　囲碁に興味がある方ならどなたでも参加できます。
そ の 他　棋力によりクラス分け各人４回対戦し順位を決めます。
参 加 費　**一般　2,000円**
文化協会会員　1,000円
高校生以下　1,000円
※当日会場でお支払いください（昼食付）
問い合わせ　伊藤　☎090-7615-5115

編集後記

東員町文化協会の受託事業である第56回東員町文化祭は、町民の皆様・関係者の方々のお陰で、無事終了させていただきました。さて、当協会自主事業である第31回春の文協まつりは、作品展示、大茶会、囲碁大会に加えて年１回の芸能部門の発表である芸能祭があります。今年度は、一般公開です。多くの方々のご来場をお待ちしております。

（平野義人）

(広報委員)
編集担当　川松 由喜子　木村 真由美
山田 由紀子　平野　義人
ホームページ担当　照井 亮平

発行　一般社団法人 東員町文化協会
三重県員弁郡東員町山田1700
東員町総合文化センター内
TEL 0594-76-7711
FAX 0594-76-2888
E-mail info@toin-ca.org
https://www.toin-ca.org

印刷：冊子印刷ドットコム